

目標 大事な言葉や文に注意しながら、植物が種をさまざまな方法で飛ばして仲間を増やす仕組みを読み取る。

「習得」の学習段階

(2/10 時間目) 目標 文章の中の大事な語や文を考えて選び出し、種を運ぶ工夫について読み取る。

めあて

たいせつ

たしかめ

チャレンジ

ふりかえり



大事なことは、「そこで」の後に書かれています。
なぜ「そこで」の後の文が大事なのでしょうか。

教科書の具体例「オオオナモミ」の説明文から、大事な文を教え、なぜその文が大事なのか理由を考えさせる。接続語「でも」「そこで」を根拠にして、なぜその文が大事なのかを説明し、確実に教えたい内容を教える。



「そこで、オオオナモミは、ちょうど人や犬の体の高さくらいにえだをのばして、みをつけるのです。」という文が大事だと思います。

理由は、動物が通るところに枝が伸びなければ、いくらとげがあってもくっつかないからです。

「なぜその文が大事なのか」について、相手に説明する。ペアで説明し合うことで、自分が理解できているか確認させる。



大事な文は、「そこで、カラスノエンドウのたねは、まんまるの形をしているのです。」だと思います。なぜなら、より遠くに飛ぶためには、形が大事だからです。

教科書の別の具体例「カラスノエンドウ」の説明文から、「種を運ぶ工夫」について、大事な文を見付け、なぜその文が大事なのかを考える。自分の考えをグループで説明し合い、理解を深める。

オオオナモミの種を運ぶ工夫で、実をつける高さが大切だということがわかった。
他の草花についても調べてみたい。

分かったこと、分からなかったこと、さらに知りたいことなどを振り返り、次への学びにつなげる。